

〈2026 年 5 月～6 月実施〉

生命保険大学課程

「生命保険のしくみと個人保険商品」

試 験 問 題【フォーム C】

● 注 意 事 項

1. 試験時間は 80 分です。
2. 試験問題は、全部で 49 問あります。《100 点満点》
問題 1 から 12 は、正しいものを 1 つ選ぶ問題《各 2.5 点：30 点満点》
問題 13 から 24 は、誤っているものを 1 つ選ぶ問題《各 2.5 点：30 点満点》
問題 25 から 39 は、語群の中から最も適切なもの（数値・語句）を選ぶ問題《各 2 点：30 点満点》
問題 40 から 49 は、正誤を選ぶ問題《各 1 点：10 点満点》

業界共通教育課程試験等のテキストおよび試験問題の取扱方針について

- ・業界共通教育課程試験、生命保険講座試験および継続教育制度（以下、業界共通教育課程試験等という）のテキストおよび試験問題（過去問題を含む）の著作権は、生命保険協会に属します。
- ・テキストおよび試験問題（過去問題を含む）は業界共通教育課程試験等の教育および受験の目的にのみ利用するものとします。
- ・テキストおよび試験問題（過去問題を含む）の一部または全部を無断で複写・複製・転載・頒布・販売すること、ならびに磁気または光記録媒体、コンピューターネットワーク上等へ入力することは、法律で認められた場合を除き固く禁じます。なお、生命保険協会が許可した場合または法律で認められた場合であっても、当該行為により生じた結果について、生命保険協会は故意または重大な過失がある場合を除き一切の責任は負わないものとします。

一般社団法人 生命保険協会

〔 １ 〕 保険法に基づく被保険者の同意

次の文章のうち、正しいものを1つ選んでください。

ア. 保険契約の当事者以外の者を被保険者とする死亡保険契約・傷害疾病定額保険契約は、当該被保険者の同意がなければその効力を生じない。傷害疾病定額保険契約で保険金受取人が被保険者（または相続人）である場合も、被保険者の同意が必要である。

イ. 他人である被保険者の同意を要するのは、「他人の生命の保険契約」のうち死亡保険の場合であり、生死混合保険および生存保険契約においては、被保険者の同意は必要ない。

ウ. 保険契約成立後において、保険金受取人が契約によって生じる権利を他人に譲渡する場合には、被保険者の同意が必要である。

エ. 他人の死亡や傷害疾病によって保険金の支払いを行う旨を定めた生命保険契約において、保険契約成立後に、保険契約者が保険金受取人を新たに指定または変更する場合、被保険者の同意は必要ない。

〔 ２ 〕 保険金等の請求手続き

次の文章のうち、正しいものを1つ選んでください。

ア. 保険契約者および保険金受取人には、保険事故が発生したことを知った場合はすみやかに生命保険会社に通知する義務がある。この通知義務について、保険約款においては被保険者が死亡した場合と給付事由が発生した場合について規定しているが、保険法ではすべての保険事故について規定している。

イ. 保険金等の請求手続きの際、保険金等の受取人には保険約款に明記された書類以外にも生命保険会社が必要として要求する書類の提出が義務付けられており、これらの書類を提出しない場合には、保険金等の支払いがそれだけ遅延することになる。

ウ. 保険金等の給付に関する請求権は、保険法により5年をもって時効となる。

エ. 保険金等の支払時期について、通常、保険約款においては、請求に必要な書類が生命保険会社の本社（本店）または支社に到着してから、生命保険の場合が30日以内、傷害疾病定額保険の場合が5日以内に保険金等を支払う旨を規定している。

〔 3 〕 保険契約の失効・復活

次の文章のうち、正しいものを1つ選んでください。

ア. 保険料払込猶予期間内に保険料が払い込まれない場合、保険契約は失効することとなるが、いつ失効したとみるかについては、大半の生命保険会社が「猶予期間の満了日から効力を失う」と規定している。

イ. 保険約款では、失効を「保険契約が将来に向かってその効力を失う」と規定しており、失効と同時に、保険契約者の解約返戻金の請求権は消滅することとなる。

ウ. 保険契約を復活する場合には、保険契約者は所定の手続きを行った上で延滞保険料を払い込むことを要し、この延滞保険料が払い込まれて初めて、保険契約は失効前の状態に戻る。

エ. 保険契約を復活した場合、保険契約は失効前の状態に戻るようになるが、相当期間を経過した契約に対して支払われる消滅時特別配当については、失効中の期間は計算の対象には含まれない。

〔 4 〕 保険契約者・保険金受取人の変更

次の文章のうち、正しいものを1つ選んでください。

ア. 保険契約者と被保険者が異なる契約で、保険契約者が死亡した場合、保険契約上の権利義務は保険契約者の相続人に相続される。保険約款では、相続人が複数いる場合は、保険契約者も複数人の連名とすると定められている。

イ. 保険契約者の意思にもとづき保険契約者の地位を第三者に承継させると、新しい保険契約者は保険契約上の一切の権利義務を引き継ぐことになる。この場合、「被保険者の同意」と「生命保険会社の承諾」が必要である。

ウ. 保険契約者は、保険事故発生後であっても保険金受取人を変更することができる。

エ. 保険契約者は、死亡保険金の支払事由の発生有無を問わず、遺言により保険金受取人を変更することはできない。

〔 5 〕 告知義務違反による保険契約の解除

次の文章のうち、正しいものを1つ選んでください。

ア. 保険法上、保険契約の締結に際し、生命保険会社が求めた告知事項に対し、告知義務者が重大な過失により応答義務を怠った場合は、「告知義務違反」にはあたらない。

イ. 解除権行使の方法は、解除通知の相手方である保険契約者に対する一方的な意思表示によって行えばよく（形成権）、解除通知を相手方に発信した時点で解除の効力を生じる。

ウ. 告知義務違反を理由として生命保険会社が契約を解除したとき、その解除は将来に向かってのみその効力を生じる。

エ. 保険契約の責任開始の日から、2年以内に保険金等の支払事由が生じていた場合でも、生命保険会社が解除の原因となる事実を知った日が契約締結のときから3年を経過しているときは、生命保険会社は告知義務違反による解除権を行使することはできない。

〔 6 〕 配当金（毎年配当型）の支払いと計算方法

次の文章のうち、正しいものを1つ選んでください。

ア. 年度末決算（3月31日）で割り当てられた社員（契約者）配当金は、次の事業年度の初日に分配される。

イ. 社員（契約者）配当金のうち死差配当は、次の算式で表される。
$$(\text{死差配当率}) \times (\text{保険年度末保険料積立金})$$

ウ. 社員（契約者）配当金のうち利差配当は、次の算式で表される。
$$(\text{利差配当率}) \times (\text{保険金} - \text{保険年度末保険料積立金})$$

エ. 社員（契約者）配当金のうち費差配当は、次の算式で表される。
$$(\text{費差配当率}) \times (\text{保険金})$$

〔 7 〕 身体的危険

次の文章のうち、正しいものを1つ選んでください。

ア. 生命保険においては、身長と体重との関係によって、体格を重量体・標準体・軽量体に分類している。

イ. 標準体重の計算方法には、身長と体重の測定値より $\{(身長 \text{ cm} - 100) \times 0.9\} \text{ kg}$ とするものがあるが、最低死亡率を基準とした標準体重表も作成されている。

ウ. 既往歴とは、現在もっている健康上の異常のことをいう。このような異常のある被保険体は、原則として生命保険契約の対象にはならない。

エ. 現病歴とは、過去の疾患あるいは外傷の履歴のことをいう。現病歴の有無およびその経過は選択上非常に重要な要素である。

〔 8 〕 (自動) 振替貸付および契約者貸付

次の文章のうち、正しいものを1つ選んでください。

ア. (自動) 振替貸付は、保険約款に (自動) 振替貸付についての規定がない契約であっても、解約返戻金があればその範囲内で自動的に貸し付けが行われる。

イ. (自動) 振替貸付を行った後に保険契約者から払済保険への変更の請求があった場合、(自動) 振替貸付を行ってからの経過期間にかかわらず、(自動) 振替貸付を取り消す取扱いはできない。

ウ. 契約者貸付とは、保険契約者が一時的に金銭を必要としたときに、生命保険会社が保険契約者に対し責任準備金の所定の範囲内で貸付を行い、保険契約者の便宜を図ろうとする制度である。

エ. 保険約款では、保険契約が消滅したときや保険契約内容の変更に伴って支払われる金額がある場合はその金額から、契約者貸付金の元利合計額を差し引くことによって返済させる旨を規定している。

〔 9 〕 死亡保障を厚くする特約

次の文章のうち、正しいものを1つ選んでください。

ア. 定期保険特約は、保険期間中、保険金額が一定である定額タイプが一般的である。保険料が一定で、契約後一定期間ごとに保険金額が減っていく逓減定期保険特約はあるが、保険金額が増えていく逓増定期保険特約はない。

イ. 収入保障特約（生活保障特約）は、死亡または高度障害状態に該当したとき以後、契約時に定めた満期まで年金を支払う。年金を支払う回数はいつ死亡または高度障害状態に該当するかによって変動するが、一般に、支払回数には最低保証があり、満期までの年金支払回数が最低保証に満たない場合、既払込保険料総額を支払う。

ウ. 家族定期保険特約は、一定期間内に被保険者として定めた家族が死亡した場合、死亡保険金を支払うが、高度障害状態に該当したとき、高度障害保険金は支払わない。

エ. 生存給付金付定期保険特約は、保険期間中に死亡または高度障害状態に該当したときに死亡・高度障害保険金を支払い、生存していれば一定期間が経過するごとに生存給付金を支払う。

〔 10 〕 医療保障を目的とした主契約

次の文章のうち、正しいものを1つ選んでください。

ア. 医療保険は、病気やケガで入院・手術した場合に、入院給付金や手術給付金を支払う保険で、保険期間が一定期間の定期タイプとなっており、一生涯保障が継続する終身タイプの商品はない。

イ. 医療保険は、保険期間満了時に満期保険金を支払う商品が一般的である。

ウ. がん保険は、がんによる入院、所定の手術を受けたときなどに給付金、がんによる死亡時に保険金を支払う保険で、がん以外の死亡に対する保険金は一般にがんの場合と同額で、保険金がないものはない。

エ. がん保険は、契約から 90 日間（生命保険会社によっては 3 カ月）の「待ち期間」経過後が、がん責任開始期となり、がん責任開始期前にがんと診断された場合、保険契約は無効となるタイプが一般的である。

〔 11 〕 資産形成を目的とした主契約

次の文章のうち、正しいものを1つ選んでください。

ア. 保証期間付有期年金は、保証期間中、被保険者の生死に関係なく年金を支払う商品で、保証期間中に被保険者が死亡した場合は遺族に残りの保証期間に対応する年金、または一時金を支払う。

イ. 無選択型個人年金保険は、健康状態の告知が必要な個人年金保険とは異なり、契約の際、健康状態の告知を必要としないが、保険料払込期間中に被保険者が高度障害状態に該当した場合、保険料免除機能がある。

ウ. 変額保険には、保険期間が一定期間の有期型と、一生涯保障が継続する終身型がある。有期型の場合、満期保険金額は資産運用の実績によって変動するが、満期保険金額の最低保証がある。

エ. 変額個人年金保険は、運用実績により年金額や解約返戻金などが増減する個人年金保険で、年金原資は最低保証がないタイプのみであるが、年金支払開始前に被保険者が死亡した場合に支払われる死亡給付金については、最低保証をしている商品が一般的である。

〔 12 〕 損害保険

次の文章のうち、正しいものを1つ選んでください。

ア. 損害保険は、契約した保険金額を上限に、実際に受けた損害の程度に応じて保険金が支払われる実損払方式と、契約した保険金額が定額で支払われる定額方式のタイプがある。

イ. 傷害保険には「掛捨て型」と「積立型」があり、「掛捨て型」は、一般に1年契約となっているが長期契約も可能である。「積立型」は、「掛捨て型」に貯蓄機能を付け加えたもので、満期時に満期返戻金として支払うものはあるが、年金として支払うものはない。

ウ. 傷害保険の保険金額は、「死亡に対していくら」「入院1日に対していくら」という具合に、損害の程度に応じた一定の保険金額（死亡保険金額や入院保険金日額など）を契約時に定める。この保険金額の設定にあたり、各損害保険会社では引受限度額を設けていない。

エ. 所得補償保険の対象となるのは、会社員や自営業者など、働いて収入を得ている人で、加入の際に被保険者の健康状態に関する告知は不要である。

<ここからは誤っているものを1つ選ぶ問題です。>

〔 13 〕 保険契約の当事者

次の文章のうち、誤っているものを1つ選んでください。

ア. 保険者とは、保険契約の当事者のうち、保険給付を行う義務を負う者をいう。

イ. 2006 年（平成 18 年）の改正保険業法の施行によって、保険事業を営むことができる者に、資本金 1,000 万円以上で年間収受保険料 50 億円以下かつ取扱商品の保険期間や保険金額等に制約のある少額短期保険業者が新たに加わった。

ウ. 法人が保険契約者となる場合、申込書の保険契約者欄には、法人が登記している正式な商号または名称、その法人の代表機関であることを示す肩書とその者の氏名・性別の 4 点を記入のうえ、職印を押すことが必要である。

エ. 未成年者が保険契約者となる場合、親権者（親権者がいないときは未成年後見人）の同意を得なければならない。

〔 14 〕 保険料の払込み

次の文章のうち、誤っているものを1つ選んでください。

ア. 保険契約者の不在等により保険料払込の意思が確認できない場合などは、第三者が代わって保険料を払い込むことは可能とされており、集金担当者等の取扱者による立替入金は法制上制限されていない。

イ. 保険料額は、いったん約定された以上、当事者の一方的な意思でこれを変更することはできないのが原則であるが、職業上の危険を考慮して保険料額を定めたような場合で、その特別の危険が著しく減少したとき、保険法では、保険契約者は将来に向かって保険料減額を請求できるとされている。

ウ. 保険契約者が保険料払込方法（経路）として団体（集団）扱を選択した場合、保険契約者は、別途「団体扱特約」または「集団扱特約」を締結し、給与等からの天引きによって保険料を払い込む。この方法では、保険料が団体（集団）から生命保険会社に払い込まれたときに保険料を払い込んだことになる。

エ. 生命保険契約は概して長期の契約であることから、保険料の払い込みについては、保険約款で払込期月経過後一定の猶予期間を設けている。月払契約の場合には、払込期月の翌月初日から末日までが猶予期間である。

〔 15 〕 責任開始の時期

次の文章のうち、誤っているものを1つ選んでください。

ア. 生命保険契約における「責任開始期」とは、生命保険会社が保険契約の申込みに対する承諾をした場合に、契約上の保障責任を開始する時期のことをいう。

イ. 生命保険契約の成立は、申込者の申込みを受けて生命保険会社がその保険契約の申込みを承諾したときであり、保険契約が成立したことを前提として保険契約上の責任（保険事故発生の場合に保険金を支払う責任）は、申込後告知（診査）を受け第1回保険料相当額が払い込まれた時点まで遡及する。

ウ. 現行の保険約款には、「保険契約の成立日を契約日とする」旨の規定がある。

エ. 団体扱特約や保険料口座振替扱特約等を付加している保険契約の場合、保険期間の開始日（契約日）を保険約款に定める責任開始日の翌月1日とする特則を設けている。

〔 16 〕 保険金の支払い

次の文章のうち、誤っているものを1つ選んでください。

ア. 保険金受取人は、保険契約者が指定した者とするのが一般的であるが、高度障害保険金のように保険約款上であらかじめ被保険者や保険契約者等を保険金受取人に定めている場合もある。

イ. 保険事故発生前に、保険金受取人が死亡した場合は、保険契約者が被保険者の同意を得て保険金受取人を再指定する。再指定されるまでの間に保険事故が発生した場合は、保険契約者が保険金受取人となる。

ウ. 被保険者の生死が確認できない場合でも、法的に死亡したとみなされるものに「失踪宣告」や「認定死亡」がある。この場合、被保険者の死亡が法的に確定することになるため、生命保険会社は保険金を支払う。

エ. 高度障害保険金は、被保険者が、契約日または復活日以後に発生した傷害または疾病を原因として、保険期間中に高度障害状態になった場合に支払う。

〔 17 〕 危険選択の原理

次の文章のうち、誤っているものを1つ選んでください。

ア. 生命保険では、危険評価額は保険金額と危険度の積として表される。
たとえば、死亡保険の死亡危険評価額は「保険金額×死亡率」で算出される。

イ. 健康状態が悪い場合や、環境的に災害や死亡の危険を感じている場合は、あきらかに保険加入の必要性を強く感じているはずで、危険の程度が高いと意識・自覚している人に、より強く保険加入の傾向をもたらすこととなる。このような傾向を「逆選択」とよんでいる。

ウ. 死亡保障についてみると、同じような性質をもった被保険者の集団それぞれについて人数が多ければ多いほど、その集団の死亡率は安定する。死亡率の安定は支出の安定という経営上の利点によって、経営に安全性をもたらす。

エ. 危険選択の効果を評価する場合に死亡率の他に、「死亡指数」がよく用いられる。死亡指数が 100 であれば、基準となる集団と同じ死亡率であることを意味し、150 であれば 50%低い死亡率であることを意味している。

〔 18 〕 危険選択の手段

次の文章のうち、誤っているものを1つ選んでください。

ア. 危険選択のための情報の中には、たとえ医師の診査を行ったとしても、申込者が知らせなければ得られない情報がある。たとえば、内科的に治療した胃潰瘍の既往歴などである。

イ. 告知や医師の診査の他に、必要に応じて用いられるものとして、契約確認報告書・主治医の証明書があるが、保険契約歴の記録は通常利用されない。

ウ. 生命保険会社が企業等を健康管理証明書扱団体として承認する際には、通常、保険種類・保険金額・被保険者の契約年齢などに一定の制限を行い、また事前に団体が確実な健康管理を実施しているかどうかを確認している。

エ. 生命保険面接士は、生命保険協会の認定試験に合格した者のうちから生命保険会社が指名した者で、被保険者との面接においては、①告知書記載事項の確認と②外観の観察を実施する。

〔 19 〕 被保険者集団

次の文章のうち、誤っているものを1つ選んでください。

ア. 危険選択上、被保険者集団が具備すべき条件として、①危険の公平性が達成されていること、②保険の倫理性が維持されていること、③契約の継続性があること、④収支相等の原則が有効に機能していること、の4つが考えられている。

イ. 危険選択の基準は、事業方法書において、保険種類、保険金額限度、保険期間制限、契約年齢範囲、付加特約の種類、診査の有無、団体の健康管理証明書扱、生命保険面接士扱に関する要件などが金融庁長官の認可を得て定められている。

ウ. 被保険者集団の構成が異なれば、当然その危険の状態にも影響を与える。もし、会社の販売方針が危険選択上好ましくない保険市場を開拓するというのであれば、当然、被保険者集団の危険度は高まることとなる。したがって、危険選択上の要素を無視した販売方針をとることは得策ではない。

エ. 契約の中途での契約内容の変更には、保険期間の延長や定期保険特約などの中途付加などがあるが、新たな危険の増加を伴う場合もあるので、それぞれに対して申込みの諾否決定等を行うことで、被保険者集団の保険事故発生率の安定化を図っている。

〔 20 〕 剰余金発生仕組みと配当金との関係

次の文章のうち、誤っているものを1つ選んでください。

ア. 生命保険会社は、予定の保険費用（営業保険料）と実際に要した保険費用（実質保険料）との差額を調整するために、剰余金の大部分を一定の基準で各契約に割り当てて分配することとしている。これを「社員（契約者）配当」という。

イ. 死差益は、次の算式で表される。

$$\text{死差益} = (\text{予定死亡率} - \text{実際死亡率}) \times \text{営業保険料の総額}$$

ウ. 利差益は、次の算式で表される。

$$\text{利差益} = (\text{実際利回り} - \text{予定利率}) \times \text{責任準備金の総額}$$

エ. 費差益は、次の算式で表される。

$$\text{費差益} = \text{予定事業費の総額} - \text{実際事業費の総額}$$

〔 21 〕 保障見直しに関する諸制度

次の文章のうち、誤っているものを1つ選んでください。

ア. 契約転換制度を利用する際の保険料は通常、転換時の契約年齢、保険料率により計算されることから、保険種類によっては保険料率の引上げになる場合がある。

イ. 転換契約においても、一般の契約と同様に告知義務があり、「転換前契約の責任開始日」を起算日として、告知義務違反による解除の規定が適用される。

ウ. 転換契約において、詐欺による契約の取消しの規定等については、転換契約の締結に際しての詐欺の行為等が適用の対象となる。

エ. 現在の保険契約に必要な金額の定期保険特約や養老保険特約・終身保険特約などを中途付加して一定の範囲内で保障額を増やす場合、原則として診査が必要で、保険料は手続時の年齢で計算される。

〔 22 〕 契約内容の変更

次の文章のうち、誤っているものを1つ選んでください。

ア. 払済保険は、変更時の解約返戻金（契約上の貸付金がある場合には、その元利金を差し引いた残額）をもとに保険期間を変えずに、一時払養老保険もしくは元契約の主契約と同じ種類の保険に変更し、保険契約の存続を図るものである。

イ. 払済保険に変更する場合、変更時点の計算基礎率、予定利率等を用いるので、元契約と計算基礎率等が異なることになる。

ウ. 延長（定期）保険は、変更時の解約返戻金（契約上の貸付金がある場合には、その元利金を差し引いた残額）を、元契約の保険金額を新たな保険金額とする定期保険の一時払保険料（新契約費を含まないもの）に充当し、死亡保険金を減額せずに保険契約の存続を図るものである。

エ. 保険料の払込みが困難になった場合、その保険契約の継続のためのサービス制度として、払済保険、延長（定期）保険の他に保険金額の減額、保険料払込方法変更などがある。

〔 23 〕 主契約の種類

次の文章のうち、誤っているものを1つ選んでください。

ア. 限定告知型生命保険は、契約時に医師による診査がなく、健康状態について告知する項目も通常より少ない。生命保険会社が申込みを引き受ける際の基準が緩和されており、「引受基準緩和型(条件緩和型)」などもよばれているもので、医療保険や終身保険、養老保険等で取り扱われている。給付金の支払いについては特別な制限がない商品となっている。

イ. 低解約返戻金型生命保険の例としては、保険料払込期間中の解約返戻金を低く抑えることで保険料を割安にしている終身保険がある。保険料払込満了後は解約返戻金が低く設定された期間が終了し、保険契約者はそれ以降、年金での受取りや解約による一時金での受取りなどの選択が可能となっている。

ウ. 外貨建ての生命保険は、養老保険、個人年金保険などの保険種類について、保険料の払込みや保険金等の受取りを外貨建てで行う仕組みを取り入れた保険である。海外の比較的高い金利を反映することで、予定利率を高く設定している。

エ. 市場価格調整(MVA)を利用した生命保険とは、個人年金保険、終身保険等の保険種類について、市場価格調整により解約返戻金変動する仕組みを取り入れた保険である。一般には、中途解約時に、積立金額に所定の「市場価格調整率」を用いて、解約時点の運用資産の価値を解約返戻金に反映(控除・加算)している。

〔 24 〕 共済事業

次の文章のうち、誤っているものを1つ選んでください。

ア. JAの共済事業は、農業協同組合法に基づき農林水産省の認可を受けて行われており、その運営は、共済契約の加入先となる「農業協同組合」と、共済金の支払い等を行う「全国共済農業協同組合連合会」の2段階の組織で行われている。

イ. こくみん共済coopは正式名称を「全国労働者共済生活協同組合連合会」といい、消費生活協同組合法に基づき、厚生労働省の認可を受けて設立された共済事業を行う協同組合で、「こくみん共済」が代表的な共済商品である。

ウ. 全国生協連(全国生活協同組合連合会)の各都道府県民共済は、0歳から85歳までが対象の1年定期の保障で、加入時に組合員となるための出資金が必要であるが、剰余金は割戻金として還元される。

エ. コープ共済連(日本コープ共済生活協同組合連合会)は、日本生活協同組合連合会(日本生協連)とCO・OP共済(コープ共済)を取り扱う生協とが共同で設立した共済事業を専門に取り扱う生協連合会で、消費生活協同組合法に基づき厚生労働省の認可を受けている。コープ共済連の取り扱う共済は、「LPA」と総称される。

<ここからは、文中に入る最も適切なもの（数値・語句）を選ぶ問題です。>

【危険選択の手段】

文中の空欄【 25 】～【 29 】に入る最も適切なものを選んでください。

1. 告知と告知書

告知義務に関し、告知書によって告知されるべき事項は、保険契約者保護と事務簡素化の見地から、その最大範囲が【 25 】に記載されている。

2. 告知の方法

告知は通常、あらかじめ生命保険会社が用意した告知書に回答する形式で行われ、告知義務者本人が記入したうえで署名（自署）する。なお、生命保険会社指定の医師による診査の場合は、医師が問診により聞き取った告知内容について、告知義務者本人が内容確認したうえで署名（自署）する。

3. 医師の診査

診査を行う生命保険会社指定の医師には、生命保険会社の職員である【 26 】と生命保険会社が診査を委嘱した【 27 】があり、いずれも「診査医」とよんでいる。

診査は、告知聴取と【 28 】によって行われる。告知聴取では、所定の告知事項について問診が行われる。【 28 】では、視診・体格計測・脈拍測定・血圧測定・検尿を含む一般内科的診察が行われる。また、必要に応じて、心電図検査や血液検査などの特殊検査を実施することもある。

生命保険の診査は、一般臨床の診察と異なる点がある。診察は診断後の治療を目的とするのに対して、診査は将来の【 29 】に影響する身体

的危険の把握を目的としているために、臨床的にはあまり問題としない軽微な異常でも重要な意味をもつことがあり、それらの発見が要求されている。こうした点で、医師の診査は危険選択の技術の要となっている。

語群

ア. 定款

イ. 検診

ウ. 「専門医」

エ. 「勤務医」

オ. 健診

カ. 事業方法書

キ. 予定事業費率

ク. 保険事故発生率

ケ. 「社医」

コ. 「嘱託医」

【条件体保険の特別条件】

文中の空欄【 30 】～【 34 】に入る最も適切なものを選んでください。

条件体の申込被保険体に対して生命保険契約を締結するには、危険負担公平性の原則からその超過危険に応じた特別条件が必要となる。

死亡保険に対する特別条件

①特別保険料徴収法（料増法・割増保険料徴収法）

標準保険料の他に、超過危険をカバーするための特別保険料を徴収する方法をいう。超過死亡指数が大きくなるにつれ特別保険料も多くなる。主にその超過危険に【 30 】あるいは恒常性の傾向がみられる場合には、全期間にわたり特別保険料を徴収する条件が適用されることが多い。特別保険料を徴収する期間を、一定期間のみとする条件を設けている生命保険会社もあるが、これは【 31 】危険に対応するものといえる。

②保険金削減法

徴収する保険料は標準保険料のみであるが、契約後一定期間（削減期間）内に死亡した場合、保険金を一定の割合に削減して支払う方法をいう。超過死亡指数が大きいほど削減期間は長くなる。また、削減期間（最長【 32 】年）の経過とともに削減される死亡保険金は【 33 】なっていき、削減期間終了後は、本来の死亡保険金額となる。

③年増法

たとえば、40 歳の条件体申込者に対して 45 歳の標準保険料を徴収するというように、被保険者の実際の年齢に適当な年数を加えた年齢に相当する保険料を徴収する方法をいう。超過死亡指数が大きいほど、年増の年数が大きくなる。危険保険料が 40 歳あたりから急増すること

から、【 30 】危険のカバーに用いられている。この方法は【 34 】の契約で用いられているが、若年齢契約や短期間契約の超過危険のカバーには適していない。

④特別保険料徴収法・保険金削減法の併用

上記①②を同時に用いる方法であり、通常は危険が高度でどちらか一方の条件のみでは超過危険をカバーできない場合に用いられる。また、本来は特別保険料徴収法を用いる危険に対し、特別保険料の負担を軽減する代わりに保険金を削減することにより販売上の便宜を図るという趣旨で用いられる場合もある。

語群

ア. 一時払

イ. 逓減性

ウ. 多く

エ. 5

オ. 一時的

カ. 前納払

キ. 10

ク. 適合性

ケ. 逓増性

コ. 少なく

【チルメル式保険料積立金】

文中の空欄【 35 】～【 39 】に入る最も適切なものを選んでください。

純保険料式保険料積立金の計算においては、収入保険料のうち事業費支出の財源となる【 35 】が、保険料払込期間にわたって一定額である。しかし、現実には、初年度（第1保険年度）において、保険証券の作成費、営業職員等の生命保険募集人への報酬、医師への診査手数料などの支払いのため、【 35 】よりも多額の経費支出となるのが普通である。

ここで、同時に加入した保険契約集団を考え、それが会計上、できるだけ独立していることが要請されているとすると、【 35 】を上回る経費支出分は他の保険契約集団の【 35 】の一部で賄うのではなく、自己の【 36 】の一部分で賄うこととならざるを得ない。ただし、この場合でも、【 36 】中の【 37 】部分までに限られるべきであり、死亡保険金支払の財源となる【 38 】部分にまで事業費支出への流用を認めては、死亡保険金支払に支障をきたしかねない。

このように、契約初期に限って【 37 】の一部または全部を予定事業費に転用しておき、この転用部分（借用部分）を一定の期間の【 35 】で償却（返済）する方法で積み立てる保険料積立金がある。この方式を体系化したのがドイツ人のチルメルであり、その名前にちなんでチルメル式保険料積立金という。そして、この転用部分を「チルメル割合」（あるいは「チルメル歩合」）、償却する期間を「チルメル期間」とよんでいる。

純保険料式とチルメル式の違いは、営業保険料の中の【 36 】と【 35 】の構成比を、一定とするか変則的に組み替えるかである。

純保険料式では、その金額を毎年平準（一定）にした【 36 】を用いる

（したがって、厳密には「【 39 】」とよぶ）。これに対して、チルメル式では初年度のみ【 35 】を多くし、その多くした分だけ次年度以降（チルメル期間内）の【 35 】を少なくして、事業費（新契約費）を初年度に多く出せるようにしている。

語群

ア. 危険保険料

イ. 自然保険料式

ウ. 費差益

エ. 死差益

オ. 純保険料

カ. 初年度保険料

キ. 平準純保険料式

ク. 付加保険料

ケ. 貯蓄保険料

コ. 未経過保険料

<ここからは正誤を選ぶ問題です。>

【 40 】 クーリング・オフ（契約撤回請求権）

次の文章について、正しい場合は「正」、誤っている場合は「誤」を選んでください。

クーリング・オフについては、保険契約の申込みまでに申込者等に説明する重要な事項のひとつとして、「ご契約のしおり」や「注意喚起情報」等にその内容が記載されている。

正

誤

【 41 】 前納・一括払の仕組み

次の文章について、正しい場合は「正」、誤っている場合は「誤」を選んでください。

保険料を前納や一括払で払い込んでいる場合、途中で解約になったり、保険事故発生に伴い保険料が払込免除となるなどの理由により将来の保険料の払込みが不要になった場合には、その時点での前納金・一括払金の残額（未経過分）を保険契約者に払い戻す。ただし、保険金を支払うときは、その保険金の受取人に払い戻す。

正

誤

【 42 】 BMI

次の文章について、正しい場合は「正」、誤っている場合は「誤」を選んでください。

Body Mass Index（BMI）は、次の式で表される。

$$BMI = \text{体重 (kg)} \div \{\text{身長 (m)}\}^2$$

正

誤

【 43 】 選択効果の検証

次の文章について、正しい場合は「正」、誤っている場合は「誤」を選んでください。

一般に保険年度が進むにつれ死亡率は増加し、選択期間を過ぎると終局死亡率に落ち着くとされているが、その場合、選択期間を経過した後は選択効果がないということではなく、基礎死亡率あるいは国民死亡率に比べ低い死亡率を示していれば、なお選択効果が認められるということである。

正

誤

〔 44 〕 死亡率と生存率の関係

次の文章について、正しい場合は「正」、誤っている場合は「誤」を選んでください。

死亡率と生存率の関係は、次のとおりである。

「生存率＝ $1 - (1 / \text{死亡率})$ 、死亡率＝ $1 - (1 / \text{生存率})$ 」

正

誤

〔 45 〕 保険料の現価

次の文章について、正しい場合は「正」、誤っている場合は「誤」を選んでください。

現価とは、将来のある時期に、ある一定の金額を受け取るために現在用意しなければならない金額のことをいい、受取時が年の始めか、年の中央か、年末かによって、3つに分類される。このうち受取時が年の始めとなる期始払現価は、次の算式で表される。

期始払現価＝受取金額× $1 / (1 + \text{利率})$

正

誤

〔 46 〕 保険料と責任準備金

次の文章について、正しい場合は「正」、誤っている場合は「誤」を選んでください。

純保険料は、保険契約者から払い込まれた保険料をどの程度の利率で資金運用できるのか（予定利率）、また、どの程度の保険金支払が予想されるのか（予定死亡率）を基礎に、過不足が生じないように計算される。これを「収支相等の原則」という。

正

誤

〔 47 〕 保険料払込免除特約

次の文章について、正しい場合は「正」、誤っている場合は「誤」を選んでください。

保険料払込免除特約とは、三大疾病により所定の状態に該当したときや、所定の身体障害状態・要介護状態などに該当したとき、以後の保険料払込が免除される特約であり、この特約に対する保険料は不要である。

正

誤

【 48 】 先進医療特約

次の文章について、正しい場合は「正」、誤っている場合は「誤」を選んでください。

先進医療特約は、治療時に厚生労働大臣に承認されている医療機関の先進医療に該当する治療を受けたときに給付金を支払う特約である。

正

誤

【 49 】 少額短期保険業

次の文章について、正しい場合は「正」、誤っている場合は「誤」を選んでください。

少額短期保険業とは、保険業法上の保険業のうち、一定の事業規模の範囲内において、保険金額が少額で、生命保険・医療保険・損害保険いずれも保険期間1年以内の保険引受のみを行う事業をいう。

正

誤

